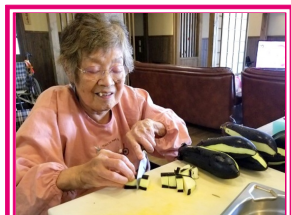


すずの郷新聞 第83号



施設員のひとこと

今年の夏は、3年ぶりにすずの郷夏祭りを開催します。暑さ忘れ、心に刻まれるひとときとなります。よう、スタッフ一同、踊りや出店、花火などの準備に張り切っております。8月26日(日)17時スタート!! 皆さまのお越しを楽しみにお待ちしております!!



今月のベストショット

お味噌汁の茄子を切るお手伝いをしてくださった中村桂子さん。久しぶりに握る包丁にドキドキ。最初は左利きを恥ずかしがられ、頑張つて右手で挑戦するお茶目な桂子さんでしたが、包丁を左手に持ち替えられ沢山の茄子を切つて下さいました♪

遠く離れた故郷への想い。毎日毎日思う故郷への想いは、遠いからこそ募り、生きる原動力となる。故郷に帰りたい、兄弟に会いたいという気持ちは、夢となり、目標となつて皆さんを元気にさせてくれると思つた今回の山形への旅でした。今回のかけがえのない日々は、最愛のご主人の法要のため、ご家族と新幹線で山形に帰省された高橋とし子さんです。

かけがえのない日々 ～ご主人の法要で山形へ 高橋とし子さん～

山形県出身の高橋とし子さん。としさんの旦那さんの13回忌法要があり、娘さんご夫妻と共に山形へ帰省することになりました。普段から「山形。山形」と生まれ故郷である山形のことをよく話されるとし子さん。としさんの部屋には、旦那さんの写真があり、写真を見ては「旦那は9歳年下で声が大きくて…」

「私を置いて一人で勝手に逝っちゃって…」としさんのことを話して下さり、としさんにとつて旦那さんは今でも大きな存在であるということが、普段のお話から感じ取ることができました。また、としさんは12人兄弟の一番年上で、皆さん仲が良く、居室

にも兄弟揃つて写っている写真があります。山形には弟さんや妹さんがおられ、久しぶりにご兄弟とも再会されることに



98歳のとしさんのさくらんぼウォーキング



ひ孫さんから誕生日のプレゼント



旅行初日の夜 ご家族揃ってカンパイ!!



プレゼントのバックですようはいどうぞ



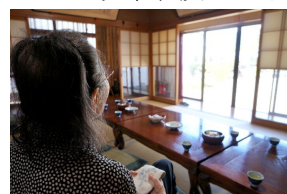
ひ孫さんからの手紙に感激!! 思わずギュッ

なりました。今回の帰省について、ご家族と一緒に計画し、山形へは新幹線で行くことになりました。そのためには、乗り換えが必要ですが、乗り換えの長い距離でも歩ける様、2か月程前から施設内を歩く練習をしました。居室にさくらんぼの木を作り、歩くときさくらんぼを貼り、山形に行ける目標と楽しみを持つていただきました。そのおかげで新幹線での移動中は、ほぼご自分で歩かれ、山形まで到着することができました。



楽しい新幹線の旅

でおられました。7月4日はとしさんの誕生日ですが、ひ孫さんの誕生日とも近く、サプライズで一緒に誕生日をお祝いしました。ひ孫さんから、としさんへ手紙を読まれると、喜ばれ、移動の疲れも忘れ、ご家族に囲まれ、とても幸せそうなお顔をされていました。



お寺の中からお参りするとしさん



次の日、お寺にて旦那さんの13回忌法要が行われました。いつもは居室の旦那さんの写真の前で手を合わせておられるとしさんですが、故郷に帰り「としさん、近くに感じるかなあ」と旦那さんを近くに感じておられる様子でした。この日はとても暑く、としさんは、お寺の中から娘さんたちがお墓参りをしているのを見ておられました。「みんな良くやつてくれるね」と言われながら、お墓の方に手を合わせておられました。今は山形から遠く離れた所に住んでみえますが、旦那さんの眠られる場所に行き、旦那さんを身近に感じていただけで、本当に嬉しく思いました。その後、弟さんや妹さん、親戚の方たちと再会されました。皆さんから「久しぶりだね。全然変わらないうね」と言われ喜ばれるとしさん。訪問したお宅では、皆さんと『ご兄弟の体調が悪くなる、家までよく看病に来てくれていた』などの、昔の懐かしい話を



弟さんの自宅での歓談



みなさんで記念撮影



子さんと一緒に外に出て笑顔になつていただき、思い出をどんどん作っていききたいです。

(伊東寿)

東関部屋の お相撲さんとの ふれあい

7月24日（火）皆さんが毎年楽しみにしておられるイベント「お相撲さんとのふれあい」今年も東関部屋の3人のお相撲さんが来て下さいました。お相撲さんが来られると、その姿を見ようと、皆さん顔を上げ、嬉しそうにお相撲さんを見ておられました。

お相撲さんと相撲を取るときには、恥ずかしそうに遠慮される方や、普段は車椅子でも、スタッフに支えてもらって立って歩き、お相撲さんと真剣勝負をされる方など様々な取組がありました。お相撲を取った後は、お姫様抱っこをしてもらいニコニコになる方もおられました。

お昼には、お相撲さんお手製の東関部屋のちゃんこ鍋を作ってください、皆さん一緒にお昼ご飯を楽しみました。「サインが欲しい」と言われたり、「彼女はいますか?」といった質問などにもお相撲さんは優しく応えて下さいました。

あっという間の時間でしたが、皆さんとても喜んで下さり、楽しい時間を過ごすことができました。また来年も来て下さるとのことで、皆さんまた来年を楽しみに、それを生きがいとして思っただけのようなお相撲さんとのふれあいでした。

(青山めぐみ)



《児島輝子さん》
生まれて初めてお相撲さんに触れて、手や足の大きさにビックリしました。私の手を持って歩いてくれて優しかったです。



《立石芳勝さん》
すごく大きなお相撲さんが来ました。足も大きかった。相撲を取って力一杯押したけど、全然動かなかった。



《杉浦弘明さん》
今までこんな間近で力士と触れ合う事がなかったので、とても嬉しかった。力士が作ったちゃんこ鍋も初めて食べてこんなに美味しいとは思わなかった。



《内田秀子さん》
お相撲さんは大きくて、いくら押しても動かなかった。敵わんわー！ちゃんこ鍋は美味しかったよ!!毎年来てくれるから、いいな！来年も楽しみだなあ!!それまで元気で生きとらなかなあ!!



中学生の 職場体験

8月1日から3日の3日間。市内の中学生と、社会福祉協議会から体験ボランティアとして、合わせて9名の中学生さんが、すずの郷に介護の職場体験にお越し下さいました。

初日は緊張していた学生のみなさんも、お昼ご飯の餃子と一緒に作って、初めて餃子を作ったと話してくれた女の子に「上手に出来たね」とお年寄りに褒めてもらったりと、会話が徐々に増えていきました。午後からはアロマ作りと一緒に楽しみ、笑顔で初日を終わることができ、緊張をほぐすことが出来ました。二日目の午前はお花作りを手伝ってくれ、一緒になって完成しました。午後の交流もお年寄りとお話しながら楽しみ、更に仲良くなる事が出来ました。最終日は朝から遠足です。ダイナランドゆり園まで総勢20名でお出掛けしました。坂道もお年寄りの車椅子を上手に介助してくれたり、仲良くなったお年寄りやリフトに乗ったり、一面に広がる満開の真黄色のユリを見て、お年寄りも学生さんも目がキラキラに輝いていました。最後にみんなでひるがの牛乳ソフトクリームを食べて、楽しさあふれる交流となりました。お別れするとき「僕はすずの郷が大好きになりました。すずの郷のお年寄りもスタッフの方も大好きです」と言ってくれた男子学生さんの言葉に感動し、胸が熱くなりました。

(浜嶋いづみ)



武光観光だより ～世界遺産 白川郷～

7月の武光観光は、世界遺産白川郷へ行きました。

前日までお天気が心配でしたが、当日は快晴。「私は晴れ女なのよ!!」と言って参加して下さいました藤江良子さんの笑顔が印象的でした。今回は、一緒にご参加いただいた森本禎子さんの娘さんに寄稿文をいただきました。

7月3日、台風7号の接近にも関わらず晴天に恵まれ、いざ白川郷へ!!武光観光御一行様を白川郷は夏の装いで出迎えてくれました。茅葺屋根の吹き替え作業も見学できました。白川郷を満喫する私たちは、どうやら周りの環境客の方々をも幸せな気分になっていたみたいです。かかしの前で、かかしのポーズに合わせて記念写真を撮る私たちを微笑ましそうに見る方々。散策中には、外国人男性二人組に笑顔一杯で話しかけられました。団子屋さんの前で、団子や五平餅を美味しくほおばりながらの談笑中には、三重から来たという男性の方が話の和に加わって来られました。

また、白川郷天守閣展望台で記念撮影を撮った淑女4名（森本さん・藤江さん・早瀬さん・鈴木さん）の笑顔は本当に素敵でした。紳士1名（寺澤さん）は、美酒と美味しい朴葉焼きの飛騨牛を召し上がって熟睡中でした。『全員で今日を楽しむ』この気持ちが武光観光の魅力だと私は思います。母にとっての1ヵ月は、過ぎてしまえばあっという間ですが、その最中はなかなか長いのです。

来月、また母とこんな『幸せいっぱい、夢いっぱい』なひとときが迎えられるように。

(森本禎子さま娘様 森本令子様)

